



2024 年度 東海大学 [1 日目]

【 講 評 】

問題構成・レベルともに前年度とほぼ同じであった。難問は少ないが問題量が多いため、効率よく処理していく必要がある。

①は「鳴鐘術」に関する長文読解問題。なじみのないテーマかもしれないが、丁寧に読み進めれば内容を把握することは容易なはずである。設問も紛らわしいものはないので、落ち着いて高得点を狙いたい。②は文法の問題。8は〈譲歩〉を表すやや難しい慣用表現。③は語彙の問題。5の whistle-blower と 6の go to extraordinary lengths はやや難しい表現だが、文意からその意味は想像できる。④は会話問題。昨年度と同様に3名以上による会話文なので、誰の発言なのか整理しながら読み進めるのがポイント。⑤の文整序は内容の展開に加えて、指示語やディスコースマーカを手がかりにするとよい。レベルは易しめ。⑥はグラフを用いた文章問題。易しい問題なのですばやく処理して和訳・英訳の時間を確保したい。最も差がつきやすいのは⑦と⑧の和訳・英訳問題であろう。和訳ではメインの文構造に加え、イディオム・構文の訳を正確に出さないと大きな減点となる。(1)では「…だけど」の意味の〈形容詞+though+SV〉と形式主語構文がポイント。(2)は not only が文頭に出ることによる疑問文型の倒置を見抜けるかがカギになる。英訳はある程度ハイレベルな能動語彙(日本語→英語)が求められている。能動語彙は、なんとなく単語帳を見ていると身につかないので、普段から英訳を意識した語彙力の強化訓練が必要であろう。(2)の stroke「脳卒中」は医学部受験生なら知っておきたい単語である。

【 解 答 ・ 解 説 】

①
問1イ 問2ウ 問3イ 問4ア 問5イ 問6ア 問7エ 問8ア 問9エ 問10ウ 問11ウ
問12 1. T 2. F 3. F 4. F

問1 「第1段落によると、鳴鐘術は、イ.過去より人気下がっている」

・第1段落最終文で、「この慣行（鳴鐘術）への関心は下がり続け、現代社会においてその未来は不確かである」と述べられている。

問2 「第2段落によると、ウ. Stedman は複数の鐘を鳴らす方法について記した」

・第2段落で Stedman が書いた2冊の本について「複数の鐘を使う技術とパターンについての指導書」「5～8個の鐘を鳴らす53の新しい方法に関する本」と紹介されている。

問3 「第3段落によると、転調鳴鐘について正しくないのはどれか」

イ.それは最多で5個の鐘で行われる。

・第3段2文で、「これ（転調鳴鐘）には、5個から12個の鐘の下に立つ鳴鐘系の集団が携わる」と述べられている。

問4 「第3段落によると、鳴鐘係は、ア.個々の鐘に結び付けられた紐を引くと推測できる」

・第3段落3文で、「彼らはそれぞれの鐘の紐を引く」と述べられている。

問5 「第4段落によると、イ.あまり時間のかからない娯楽が容易に手に入ることが、鳴鐘術の人気に影響を及ぼしている」

- ・第4段落2文で、「もっと手軽な娯楽や余暇活動への参加が容易になったことで、若い世代にとって鳴鐘が魅力的でなくなった」と述べられている。

問6 「第5段落の目的は、ア.鳴鐘への参加を増やすことに対する障害の1つを概説することである」

- ・第5段落では、鳴鐘術の衰退の原因の1つとして、鐘や楼の修復に大きな費用がかかるという趣旨が述べられている。

問7 「第6段落の superseded に最も意味が近いのは、エ.取って変わられるである」

- ・supersede 「…に取って代わる」 = replace

問8 「最終段落によると、ア.鳴鐘をスポーツとみなすことで、鳴鐘術への資金援助につながる可能性がある」

- ・最終段落2文で、「資金援助を増やし、若者に魅力をアピールするために、LDGCBR は鳴鐘術をスポーツに分類するよう要求している」と述べられている。

問9 「本文によると、CCCBR について正しいのは次のうちどれか」

エ.それは2022年の新しい鳴鐘系の募集に関わった。

- ・第4段落3文で、「2022年の秋、CCCBR は8,000名の鳴鐘系の募集を公表した」と述べられている。

問10 「本文によると、次のうち正しくないのはどれか」

ウ.鳴鐘は鳴鐘係が自由に鐘を鳴らす即興の芸術形態である」

- ・第2・3段落で鐘の鳴らし方について詳しく述べられ、またその習得にはかなりの時間を要するという記述があるため、即興の芸術ではないと判断できる。

問11 「本文のタイトルとして最もふさわしいのはどれか」

ウ.鳴鐘：複雑な芸術および21世紀におけるその地位

問12 「本文の内容に応じて、記述が正しければT、誤りであればFをマークせよ」

1. イングランドには20,000以上の教会の鐘がある。
 - ・第1段落3文で「今日、イングランドだけで5,000以上の鐘楼があり、それぞれ5~12の鐘がある」と述べられているため、鐘の数の合計は25,000~60,000となる。したがって、Tとなる。
2. 鳴鐘術は1,600年代に始まった。
 - ・第2段落1文で、「鳴鐘術の起源は1,000年以上前の中世にまでさかのぼる」と述べられている。したがって、Fとなる。
3. CCCBRは現在LDGCBRとして知られている。
 - ・本文にそのような記述はない。したがって、Fとなる。
4. 驚くべきことに、鳴鐘は現代のソーシャルメディアと同じくらい効率的なコミュニケーションの手段である。
 - ・第6段落最終文で、「鳴鐘はコミュニケーションツールとしてはいささか時代遅れである」と述べられている。したがって、Fとなる。

2

1. イ. the more honest

「物語の最後に、二人の王子のうちより誠実な方が王女と結婚するように選ばれた」

- ・the+比較級+of the two 「二人(二つ)のうちで…な方」

2. ア. to be distracted

「私の母は編み物をしているときに気をそらされるのが好きではない。いつも同じように一針一針編むことに集中したいのだ」

- like to do 「…したい」
- be distracted 「気をそらされる」

3. ア. in

「私の同僚が長年携わってきた大規模プロジェクトがついに完了する」

- be involved in 「…に携わる」

4. ウ. differentiate

「試験の問いは、私たちに3つの類似の政府の形態を区別することを求めた」

- differentiate between 「…の区別をする」

5. イ. from what

「彼に合ったことはないが、聞くところによると、彼は魅力的なのと同じくらい欺瞞的でもあるようだ」

- from what I've heard 「聞くところによると」

6. ウ. whoever

「投票はかなり重要だと考えられている。代表の座を勝ち取った者は誰でも会社の将来の方向性をコントロールできるからだ」

- whoever SV 「…する人は誰でも」

7. ア. so bright a

「彼女はたいへん聡明な生徒なので、3人の教師が奨学金を勧めた」

- <so+形容詞+a+名詞> = <such+a+形容詞+名詞>

8. イ. Be

「アレックスは嘘をついていると友人は言っている。たとえそうだととしても、私は彼を信じる」

- Be that as it may 「たとえそうだととしても」

9. イ. her of her luggage

「ポーターは一瞬迷ったあとで、彼女から荷物を受け取り部屋まで運んだ」

- relieve A of B 「AからBを取り除く」

10. イ. sells well

「高価であるにもかかわらず、クルミ材やマホガニーのような良質の材料で作られた家具はよく売れる」

- sell well 「よく売れる」

3

1. ア

「テリーの成績はアドバイザーと話し合った後で向上した」

- consultation 「相談」
- discussion 「討論」

2. エ

「長年にわたって、ジュンと彼の兄は何があっても団結していた」

- stick together 「団結する、仲が良い」
- loyal to 「…に忠実である」

3. ウ

「昨日の午後はずっと、停電によってその交差点の交通の流れは妨げられた」

- impede 「…を妨げる、遅らせる」
- obstruct 「…を妨害する」

4. イ

「アレクシスはあがり症に悩んでいると言っているが、彼女のパフォーマンスでそんな様子を見たことはない」

- suffer from 「…で悩む」
- be affected 「(病気などに) 冒される」

5. エ

「ジャーナリストは告発者の助けがなければ、多くの出来事について報道することはできないだろう」

- whistle-blower 「告発者」
- informer 「情報提供者」

6. エ

「スティーブは、その映画のオープニングナイトの上映チケットを取るためにどんなことでもした」

- go to extraordinary lengths 「(目的達成のために)どんなことでもする」
- make a great effort 「多大な努力をする」

7. イ

「その象の飼育員は同僚に 2 回目の診断をするように頼んだ」

- diagnosis 「診断」
- evaluation 「評価」

8. ア

「東京レストランの開店イベントには、何人かの著名なゲストが参加した」

- prestigious 「名声のある」
- honorable 「名誉ある」

9. ウ

「ショウコの祖母は 32 歳で結婚したが、それは女性の世代としては標準からは逸脱していた」

- a deviation from the norm 「標準化からの逸脱」
- unusual 「普通でない」

10. ア

「設立から 1 年度、夜行列車の実現可能性は疑問視されていた」

- feasibility 「実現可能性」
- practicality 「実現性」

4

1. ア 2. エ 3. ウ 4. エ 5. イ 6. イ 7. エ 8. ウ 9. ア

1. 「Lisa が Don't come crying to me と言ったとき、他のハイカーは、自分の行動に責任を持ち、結果に向き合うべきだと言いたかったのだろう」

- don't come crying to me は「後で泣きつくな」という意味の慣用的表現。

2. 「対話によると、ハイキングに関して正しくないのは次のうちどれか」

エ. そのグループはトレイル中に他のハイカーからアドバイスをもらった

・ Sarah の 2 番目の発言で、「途中で他のハイカーに出会って、方向について教えてもらえるかもしれない」とあるため、「アドバイスをもらった」は正しくないとわかる。

3. 「対話によると、どれが最も正しい可能性が高いか」

ア. Sarah は最終的に Mitch の案に同意する。

・ Mitch の 3 番目の発言で、Let's keep going! 「先に進もう」とあり、それに対して Sarah が I'm with them (Mitch と John) 「私は彼らに賛成よ」と答えている。

4. 「対話によると、エ. ハイキングをしている 4 人は最近まで学生だったと推察できる」

・ Lisa の 1 番目の発言で、「この卒業旅行はだんだんおもしろくなくなってきている」とある。

5. 「対話によると、動物園に行く理由として Maddie があげていない理由はどれか」

イ. 似たような旅行を最後にしてからかなり時間が経っている。

・ Iwan が 1 番目の発言で「長年動物園には行ってない」と言っているが、Maddie からはそのような発言はない。

6. 「対話によると、学校の遠足で動物園に行くのをやめる理由はどれか」

イ. 学生が同様のことを学べる、動物園に行く以外の倫理的な選択肢が他にもっとある。

・ Karen の 2 番目の発言「動物園で飼育する倫理観を考えないといけない」、Iwan の 2 番目の発言「動物を檻に入れなくても保護活動をする方法は他にある」のように動物園に否定的な考えが述べられた後で、動物を保護する非営利団体や保護センターに行くことが提案されている。

7. 「対話によると、Karen は次のうちどの見解に同意する可能性が最も高いか」

エ. 利益と環境保護のバランスがとれていれば、観光業は野生動物のためになる。

・ Karen の 3 番目の発言で、「自然の生態にいる動物を人々に見せて、同時にその利益で動物を守ることで持続可能な観光業を推進している非営利団体がある」とある。

8. 「この対話の後、3 人の教師が選んだ可能性の最も高い場所はどれか」

ウ. 地元の野生動物を保護するセンター

・ Karan が 5 番目の発言、「地元の野生動物を保護する Indigenous Mammal Center に行きたい」に対して、Maddie と Iwan がそれぞれ同意している。

9. 「Maddie が an uphill battle と言ったとき、ア. たいへんなことと言いたいのだろう。」

・ uphill battle は「苦戦、困難な状況」を表す慣用的な表現。

・ 「野生生物について学生に興味を持たせるのはたいへんだが、動物を間近で見ることは役に立つだろう」という意味になり、文脈に合う。

5

問 1 ウ

・ 正しい順序は次の通り。3 「様々なデザート、ケーキ、クッキー、キャンディー、パストリーに使われるチョコレートは、間違いなく地球上で最も人気のある食材である」→1 「それはカカオ豆と呼ばれるカカオの木になる苦い種を発酵させ、風味を高めるために炒って作られる」→4 「これらの豆の起源は、それぞれ現在の中米と北米にあたる数千年前のマヤ文明とアステカ文明にまでさかのぼる」→2 「しかし、今日世界の cacao 生産の 40%以上は西アフリカで行われており、およそ 5 千万人が生計のために、この産業に依存していると言われる」

問2 ア

- ・正しい順序は次の通り。4「標準中国語は、中華人民共和国の公用語であり、その国の90%以上の人に話されている」→2「中国ではさらに300種類もの言語が話されている」→1「言語学者はそれらが言語と方言のどちらに分類されるのか議論を続けている」→3「いずれにせよ、その多くが将来消滅すると心配されている」

問3 エ

- ・正しい順序は次の通り。3「量子コンピューティングは、情報を蓄積し処理するために従来のビットではなく、量子ビット、つまりキュビットを利用する」→2「従来のビットには0と1の値しかないが、キュビットには0、1の値と、同時に両方の値の重ね合わせがある」→4「キュビットの持つこの共起によって、量子コンピュータは従来のコンピュータよりずっと速く計算を行うことができる」→1「スピードの増加によって、量子コンピュータは複雑な化学反応や暗号コードの解読など、従来のコンピュータでは時間がかかりすぎる問題を解く能力を持っている」

問4 イ

- ・正しい順序は次の通り。4「懐疑主義とは、信仰や主張に対して批判的に考え、疑い、慎重に評価することを強調する哲学の立場である」→3「懐疑主義者は証拠や論理的裏付けのない主張に異議を唱えることが多く、また伝統、権威、個人的体験にのみ基づく考えを受け入れるのを拒もうとする」→1「彼らはまた主張を精査するために科学的手法や科学的原理を適用し、推論や証拠によって誤りを特定し、それに取り組もうとする」→2「そのため、懐疑主義者の明確な要求とは、そのような誤りを見つけた場合、考えを変えるべきというものだ」

6

(1) ウ higher than

- ・グラフから2019年の国内旅行者は1年を通じてすべての月で2017年より多いことがわかる。

(2) ウ July

- ・グラフから2019年と2017年の国内旅行者数の差が最も大きいのは7月だとわかる。

(3) ウ 400,000

- ・グラフから2018年で最も国内旅行者数が少ないのは1月で、その数は400,000だとわかる。

(4) ア For four consecutive months in

- ・グラフから2019年の国内旅行者数は、7月後半から11月中旬まで2018年の数より下回っていることがわかる。
- ・consecutive「連続した」

7

(1) 「触覚と味覚は役に立っていなかったが、脳の中樞が透明の壁から見える報酬まで自分の腕を導いた可能性がある」

- ・形容詞・副詞+though+SV=形容詞・副詞+as+SV「…だけど」
- ・形式主語構文
- ・that the eyes could...はthe rewardを先行詞とする関係代名詞節

(2) 「タコは異なる種の個体の顔を識別できるまれな動物の1種であるというだけでなく、人間をからかうことすらあるのだ」

- not only..., (but)～「…だけでなく～も」 not only が文頭に出たことによる疑問文型の倒置に注意する。
- go so far as to *do* 「…しさえする」
- play prank on 「…をからかう」

8

(1) Even more amazingly, when research participants watched silent videos, relatively accurate descriptions of them were generated by the AI

- 「さらに驚くべきことに」 even more amazingly
- 「…を生成する」 generate

(2) The researchers believe that these findings will be useful when people who have lost the ability to speak due to stroke or other reasons express themselves.

- 「研究結果」 findings この意味では通例複数形で用いる
- 「…の理由で」 due to
- 「脳卒中」 stroke
- 「自己表現する」 express oneself

お問い合わせは ☎0120-302-872

<https://keishu-kai.jp/>